



循環式精米機

(1俵張込: 60kg)

4LEB

(2.2kwモータ内蔵型)

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき
誠にありがとうございます。



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず
この「取扱説明書」をお読みください。

誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品の近くに保存して下さい。

もくじ

1. 危険防止のために	1
2. ご使用になるまえに	7
3. 精米の方法	13
4. 各部の点検・掃除	16
5. 不調なときの原因と対策	22
6. 消耗部品	24

重要なお知らせ



◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。

もし疑問点又は不明な点がございましたら、当社又は販売店にお問合せして回答を得るまで作業を進めないでください。

◎この取扱説明書に従わなかったため、あるいは誤用や無断改造がなされたために怪我を負ったり、損害が発生したとしても、販売元・製造元および販売店は一切その責任を負いません。

- 1) 近年農業機械には新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。
この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。
そのためこの取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。
従って機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載及び機械本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
- 2) この取扱説明書について質問やより詳しい情報が必要な場合は、当社又は販売店にお問合せください。
- 3) この取扱説明書において、万一ページの乱丁や落丁などがあった場合は、お取り替えいたしますのでお手数ですが当社又は販売店までご連絡ください。



◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。

もし疑問点又は不明な点がございましたら、当社又は販売店にお問合せして回答を得るまで作業を進めないでください。




◎この取扱説明書に従わなかったため、あるいは誤用や無断改造がなされたために怪我を負ったり、損害が発生したとしても、販売元・製造元および販売店は一切その責任を負いません。

1. 危険防止のために

1-1 警告用語の種類と意味

◎危険防止のために、本機の危険な箇所には警告ラベルを貼付してあります。
この警告ラベルでは危険度の高さ（又は事故の大きさ）に従って、次の3段階に分類しています。

以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

 危険	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 警告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 注意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合又は原料や製品に不具合が生じる場合に使用されます。

警告

危険防止のために危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。

このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。








守らずに作業をしますとケガをする場合があります。

また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。

新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償となっております）

1. 危険防止のために

1-2 本機の使用にあたっての諸注意

 警告	作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
 警告	本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し、本機の周りには決して過熱性の物・電氣的な高容量物コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険な物は置かないようにしてください。 本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあります。
 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。 守らずに作業をしますとケガをする場合があります。 また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けてください。 新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償となっております）
 警告	当社に無断で本機を改造したり、取り付けられているものを外したり加工をほどこし、本機と関係のない物を取り付けたりは、絶対にしないでください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
 警告	使用頻度に合わせて本機の点検・清掃は必ず実施してください。 本機の性能を充分発揮出来ず、安全上支障をきたすことがあります。 また、点検・清掃を行う場合は必ず元電源を切ってから作業してください。 守らずに作業しますとケガをする場合があります。
 警告	本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事有資格者又は電気工事資格店にて本機の取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。 自分で勝手に工事はなさないでください。 本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。 また、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適合していることを確認後、本機を使用してください。
 警告	本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・漏電・火災の原因となります。


1. 危険防止のために

 警告	本機を水につけたり、水のかかる場所や火気の近くでは使用しないでください。 ショート・感電・漏電・火災の原因となります。
 警告	電源プラグを抜く場合は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。 感電や発火する場合があります。
 警告	改造はしないで下さい。また、修理技術者以外の方は分解や修理をしないでください。 火災・感電・ケガの原因となります。
 警告	電源プラグの刃（プラグ先端）及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よく拭き、ほこりを取り除いてください。火災の原因となります。
 警告	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は本機を使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因となります。
 警告	指定の電源以外では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
 警告	電源コードを傷つけないでください。 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重たいものを載せたり、挟みこんだり、加工した場合は、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
 警告	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。感電・ショート・発煙・発火の原因となります。

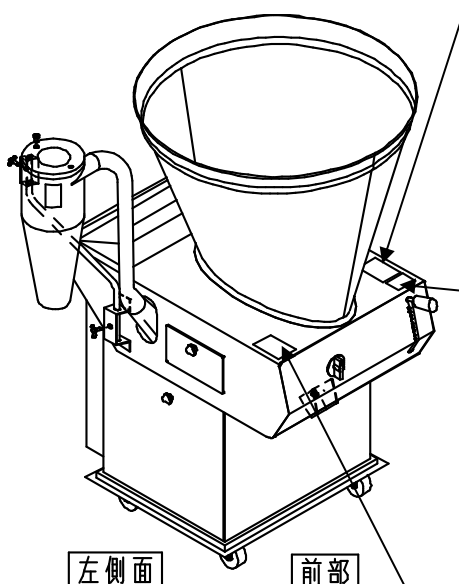
※上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。よく熟読され、必ず守ってください。

1. 危険防止のために

1-3 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明（1）

 **警告**

危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。



警告

感電防止の為、カバーを開くときは必ず電源プラグをコンセントより抜いてください。
ケ-13

図示内部に電装品が収納されております。通電中に接触しますと感電します。運転中は内部のカバーを開けないでください。修理・点検などを行う際は、必ずスイッチを切って運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
(コード：260-412-10)

注意

運転前に、必ず取扱説明書を読んで、操作装置の位置とその機能をよく理解してから運転してください。
チ-4

運転前には取扱説明書を熟読し、本機の性能・機能を充分理解してから運転してください。取扱説明書に従わなかったときは本機の性能を充分発揮できず、安全上支障をきたすことがあります。
(コード：260-433-10)

警告


点検、修理及び停電の時は、危険防止の為必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。
ケ-12


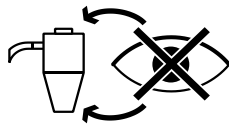
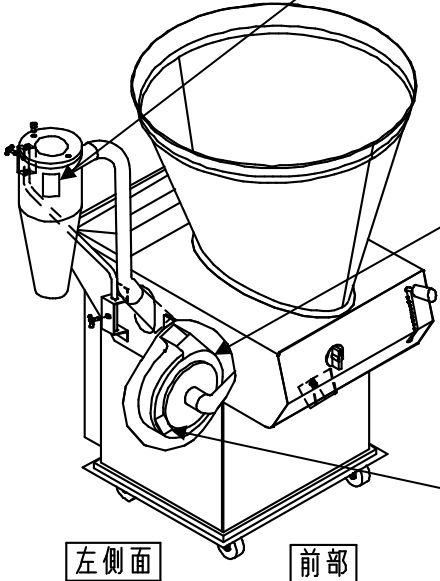

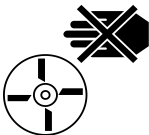
機体内部の点検・修理やベルトの交換その他停電時には、危険防止のため必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
(コード：260-411-11)

左側面 前部

1. 危険防止のために


1-4 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明（2）

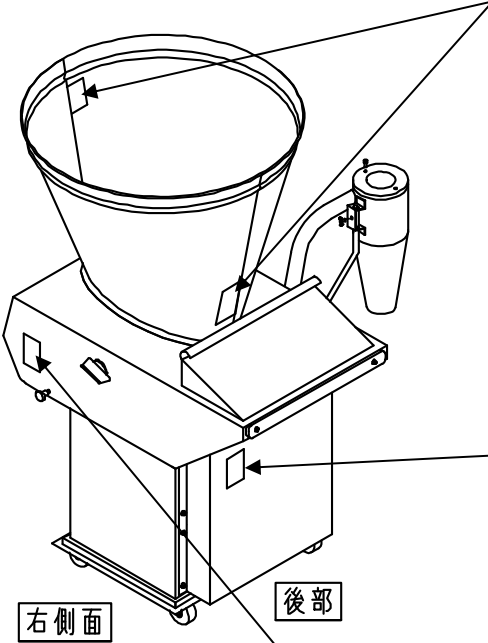
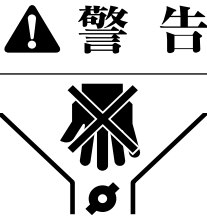
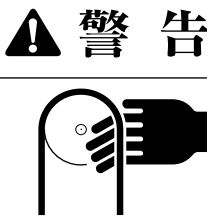
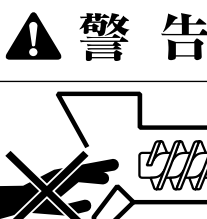
 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---

 注意  運転中は目にホコリが入りますから顔は近づけないでください。 <small>チ-6</small>	運転中にサイクロンを上から覗きますと、目にゴミなどが入り目を傷めますので、運転中は絶対に覗かないでください。 (コード：260-435-10)
 <p>吸引ファンセット</p>	 警告  運転中は回転部に手を入れないでください。 <small>チ-10</small>

1. 危険防止のために

1-5 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明 (3)

 警告	<p>危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。</p>
---	--

 <p>右側面</p> <p>後部</p>	 <p>警告</p> <p>運転中はタンク内の回転部に手を入れないでくださいケガをします。 <small>ケ-2</small></p>	<p>タンク内の下部には回転部があります。運転中これらに接触しますとケガをします。掃除やなんらかの理由でタンク内に手を入れるときは、必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。 (コード：260-401-11)</p>
	 <p>警告</p> <p>運転中はカバーを開けないでください。回転部分に接触するとケガをします。 <small>ケ-1</small></p>	<p>後カバーを開けると伝動部があります。運転中にこれらに接触しますとケガをします。後カバーを開けるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 (コード：260-400-10)</p>
	 <p>警告</p> <p>運転中は白米出口に手を入れないでくださいケガをします。 <small>ケ-3</small></p>	<p>運転中回転しているロールに接触するとケガをしますので、運転中は白米出口に絶対手を入れないでください。 (コード：260-402-10)</p>

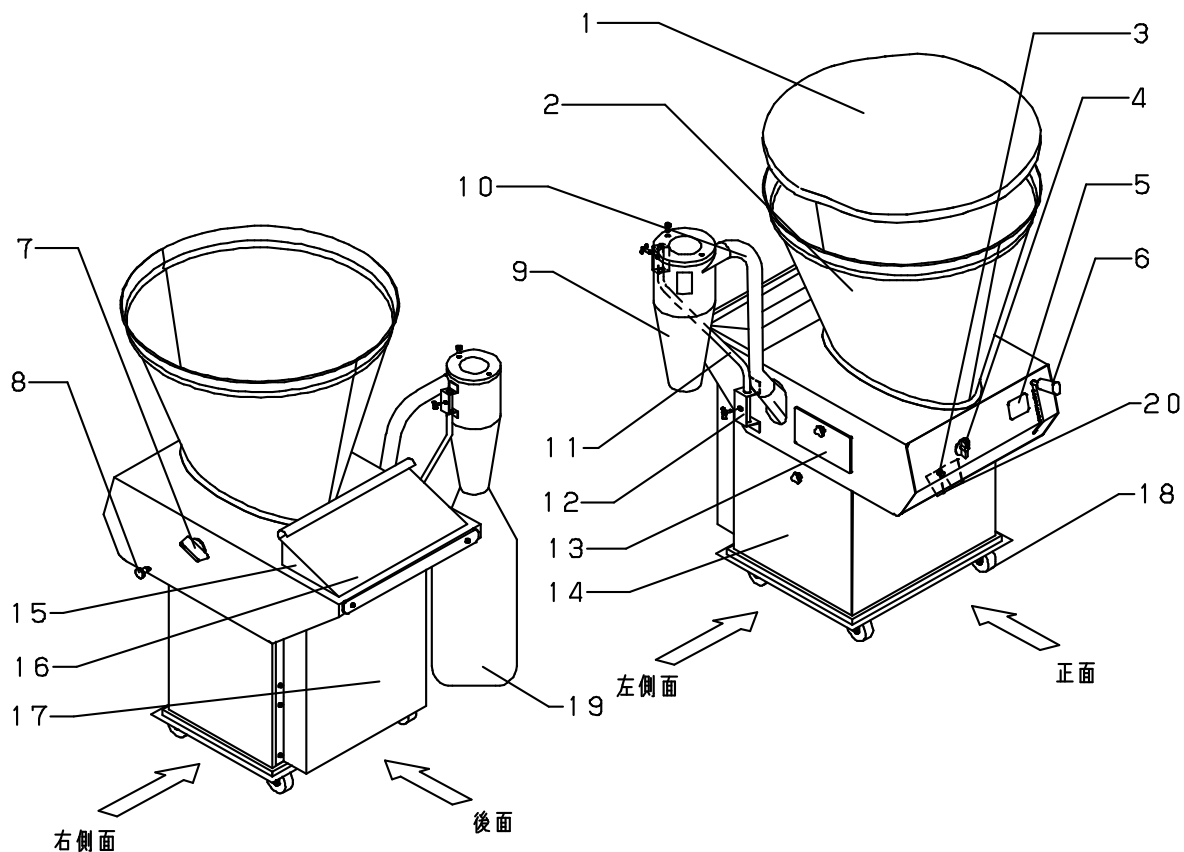
2. ご使用になるまえに

2-1 本機の構成名称



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。



No.	名 称	No.	名 称
1	タンクカバー	11	サイクロン支柱
2	タンク	12	サイクロン支柱受
3	ブレード	13	点検カバー
4	タイマー	14	左トビラ
5	抵抗メーター	15	張込ホッパー
6	抵抗ニギリ (抵抗レバー)	16	張込ホッパーフタ
7	シャッター (ハンドル)	17	ベルトカバー
8	白米排出ツマミ (排出シャッターツマミ)	18	キャスター
9	サイクロン	19	糠袋
10	サイクロンホース	20	白米出口

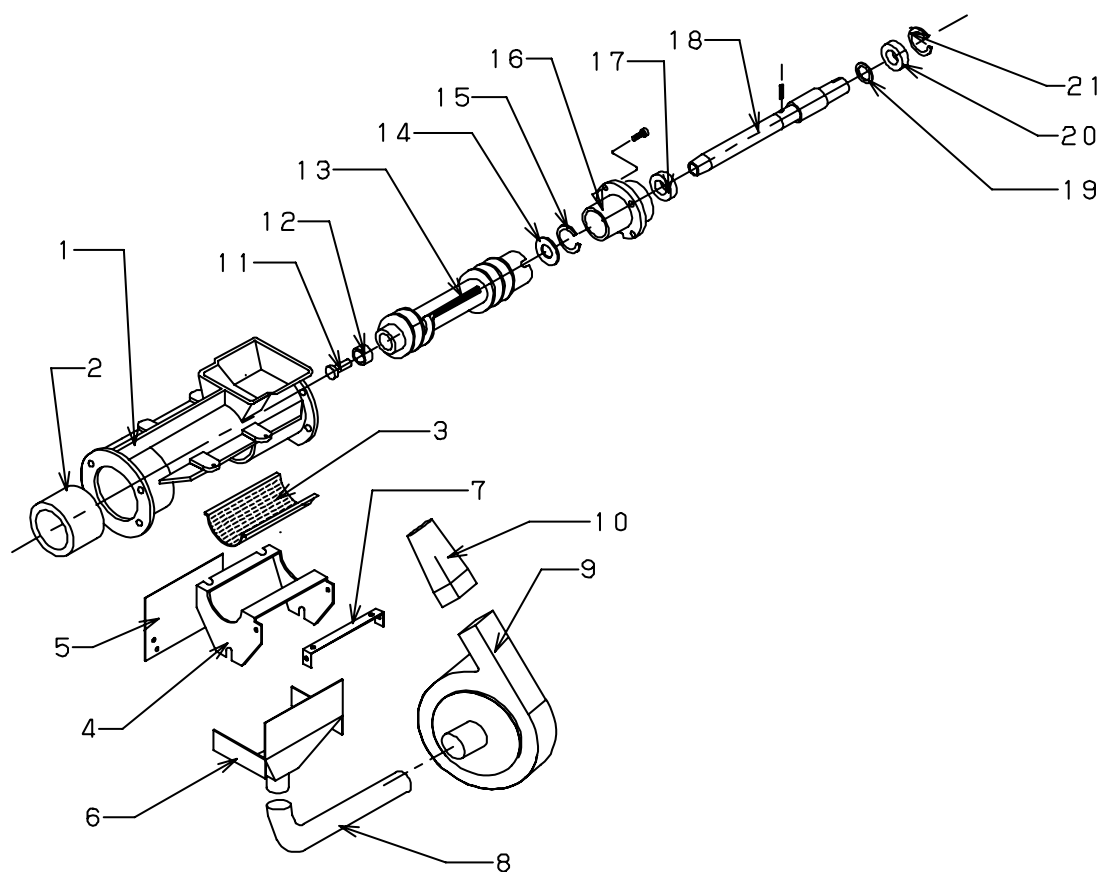
2. ご使用になるまえに

2-2 精米装置の構成



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。



No.	名 称	No.	名 称
1	本体	12	ロール押え
2	円筒	13	ロール
3	除糠アミ	14	フェルトパッキン
4	金アミ枠	15	C形同心止メ輪
5	シュート透明板	16	主軸受ケース
6	吸引シュート	17	主軸ベアリング
7	アミ枠ガイド	18	主軸
8	糠吸引ホース	19	主軸座金
9	吸引ファンセット	20	主軸ベアリング
10	吹上筒	21	C形止メ輪
11	丸皿小ネジ (M8×30)		

2. ご使用になるまえに

2-3 サイクロンの取り付け方

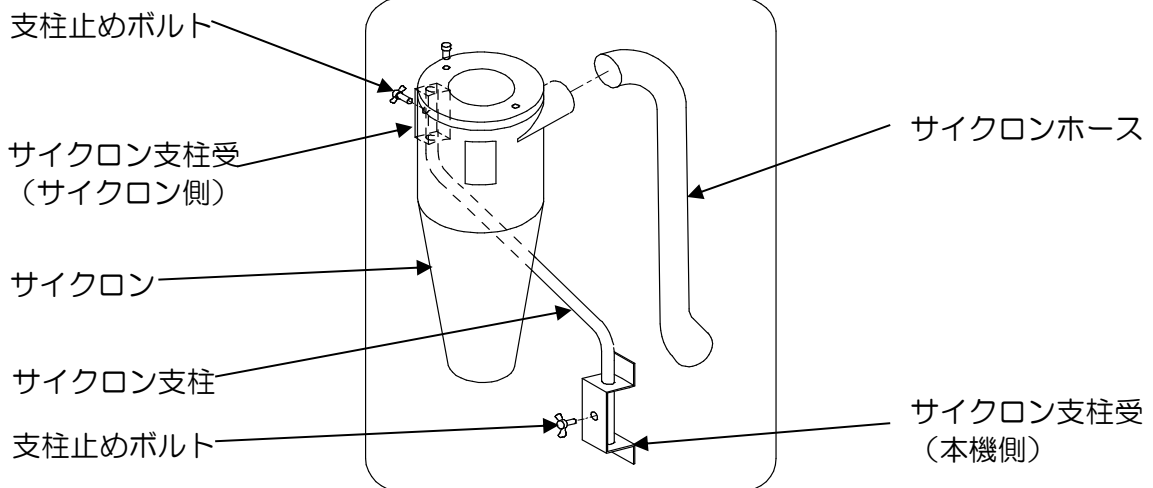
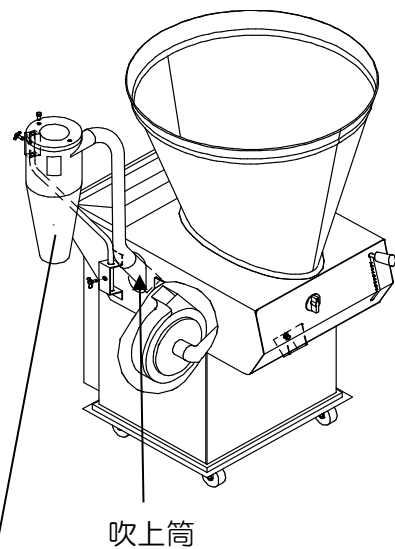


注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。

◎ 下記に示す手順にてセットしてください。

- ① サイクロン支柱をサイクロン支柱受（本機側）の穴に差し込みます。
- ② サイクロンをサイクロン支柱に差し込みます。
- ③ サイクロンホースをサイクロンにセットします。
- ④ サイクロンホースの片方を精米機の吹上筒に差し込みます。
- ⑤ サイクロンの位置を合わせましたら2ヶ所の支柱止めボルトを締めてください。
- ⑥ サイクロンの取り付けが終了しましたら、付属の糠袋をサイクロンに取り付けてください。



注意

糠袋は約2俵程度を精米したときの糠を収納することができます。2俵以上の精米するとサイクロン上部より糠が吹き上がることがあります。サイクロン・吸引ファン等の糠詰まりの原因になりますので、2俵程度精米されましたら必ず糠の処理を行ってください。

2. ご使用になるまえに

2-4 機械的・電氣的仕様の確認



警告

本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事資格者または、電気工事資格店にて本機取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。自分で勝手に工事はなさないでください。本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあります。また、既存の動力配線をお使いになる場合は、本機の基準に相反していないか確認後本機を使用してください。

項目	機種	4LEB型	
		50Hz	60Hz
タンク容量		玄米 60 (kg) / 粳 40 (kg)	
使用モーター		2.2 (kw)	
毎分回転数		930 (rpm)	1100 (rpm)
毎時能力		100 ~ 150 (kg/h)	100 ~ 150 (kg/h)
大きさ		幅 810 × 奥行 930 × 高さ 1160 (mm)	
重量		82 (kg)	
電源		三相 200 (V)	
ヒューズ / ブレーカー		30 (A) 以上	
安全装置		過負荷保護ブレーカー付 (手動復帰型)	



注意

- ① 毎時能力は玄米の乾燥度合い・品種・米質・搗精時期などの諸要因により多少の変化があります。
- ② 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

モーターの出力と各設備の容量 (参考)									
モーター (kw)	電圧 (V)	開閉器 (A)	超過目盛 電流計 (A)	ヒューズ ブレーカー 30A以上	配線最小太さ		配線最大長さ (m)	アース線最小径	
					直径 (mm)	(mm ²)		直径 (mm)	(mm ²)
2.2kw	三相 200V	30A以上	15A	30A以上	1.6	(2.0)	23	1.6	(2.0)



注意

- ① 使用電源が上記の仕様を充分満足しているか確認してください。
- ② 家庭用契約電力は15A以上が必要です。
- ③ 安全のため、必ずアース (接地工事) を接続してください。
- ④ 電気容量の大きい他の電気製品 (掃除機・電熱器等) との同時運転はしないでください。

2. ご使用になるまえに

2-5 電気工事に関する注意事項



警告

修理・点検作業等を行う場合は、必ず元電源を切ってから実施してください。
感電等安全上支障をきたすことがあります。

(注意) お客様の三相200V電源に右配線図に示すような進相コンデンサーが取り付けられていることがあります。これは、電気料金の低減が目的であります。お客様でヒューズ式開閉器をご使用の場合、何らかの原因でヒューズが切れたときその配線上（切れた配線上）には進相コンデンサーの影響により100Vが供給されてしまいます。

この100Vにより精米機に設置した電磁開閉器がチャタリング現象を起し損傷する恐れがあります。

安全のために（ヒューズ式の開閉器はご使用にならず）ノーヒューズブレーカーをご使用ください。

(注意) ヒューズの切れる原因

使用電源側にナイフスイッチ等のヒューズ内蔵型の開閉器をご使用になり、ヒューズ容量が20A以下の場合・下記の原因により精米機が過負荷状態となってモーターがロックした場合などでヒューズが切断される可能性があります。

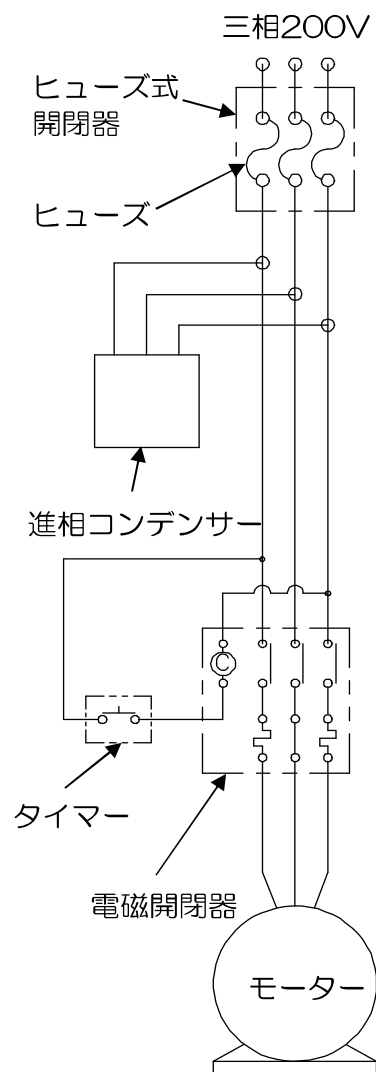
- ① 米が残っている状態でシャッターを開けたままタイマーをONにする。
- ② 必要以上に精米抵抗を掛け過ぎる。
- ③ 電源より精米機まで20m以上線を引っ張ってきている。
- ④ 規定通りの電気工事がされていない。（例えば線径が細い）

(対策) 精米機の過負荷によるロック状態を防ぐために

- ① 必ずシャッターを閉めて抵抗を「0」にしてからタイマーをONにする。
- ② 必要以上に精米抵抗をかけない。
- ③ 規定にあった電気工事により精米機を使用する。ヒューズ容量は30A異常にてご使用ください。

(注意) 運転中に停電になったとき

- ① 電源をり電源プラグを抜いてください。
- ② 精米機の玄米供給シャッターを閉め、精白度調節ハンドルを「0」にしてください。
- ③ 停電回復後の再始動が困難なときは、タイマーをOFFにして電源プラグを抜いてください。ベルトカバーを外して主プーリーを持って左右に動かして精米ロール内の米粒をほぐしてから、再度運転してください。



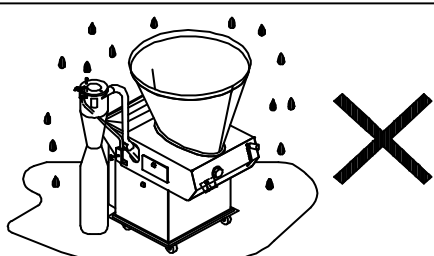
2. ご使用になるまえに

2-6 本機の設置について



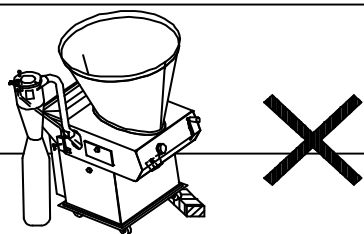
警告

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。本機の性能を充分発揮できず安全上支障をきたすことがあります。作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意してください。



注意

据え付けは湿気のないところをお選びください。本機の性能が充分発揮できないばかりでなく、本機内部にはモーターをはじめとした電装部品が組み込まれております。水等が入ってくると漏電により感電する恐れがあります。



注意

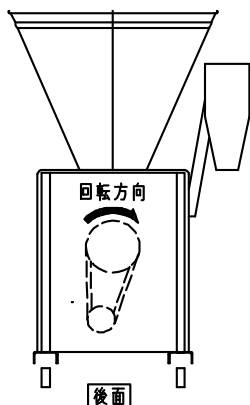
据え付けは水平になるようにしてください。本機を傾いたままで使用されると、ムラ搗きや片流れの原因となります。

2-7 回転方向の確認



注意


回転方向の確認をする際は、必ずベルトカバーを取り付けた状態で行ってください。



(注意) 精米機の回転方向は、機体後面部より見て時計方向（右回り）です。必ず矢印の方向に回転していることを確認してください。

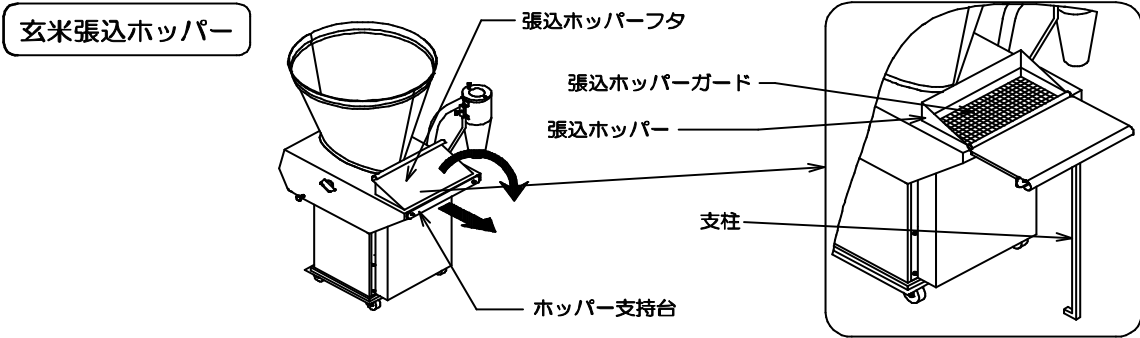
3. 運転方法

3-1 試運転における注意事項



注意

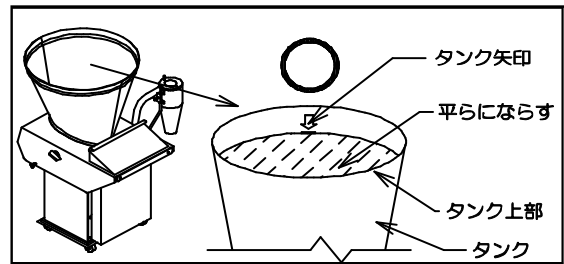
ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。
作業するには身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意してください。



- ① シャッター（ハンドル）を「0」の位置にして上図のようにホッパー支持台を引き出し、張込ホッパーを開いてください。支持台に支柱を固定してください。
- ② 玄米60kg（4斗）を張込ホッパー内に供給してください。

（注意）

- ・支柱は床面に接する程度に固定してください。
- ・玄米張込み完了後は、張込ホッパーフタを閉じてください。
- ・玄米の張込量は手で平らにならした状態でタンク矢印を越えないでください。規定量以上張り込んだり、平らにしなかった場合、片流れを起しムラ搗きの原因となります。



抵抗メーターの見方

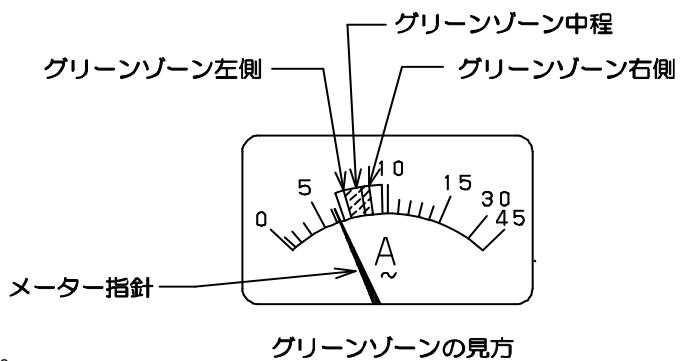
玄米精白のときの標準的な抵抗ニギリ（抵抗レバー）の取扱いを下記に示します。

- 標準米 → グリーンゾーン中程又は左側
軟質米 → グリーンゾーン左側
硬質米 → グリーンゾーン中程又は右側

新米時は若干弱めとする。
抵抗レバーを調節して上表に合わせる。

参 考

玄米水分が15%前後のものを標準米・16~17%のものを軟質米（高水分米）・13%以下のものを硬質米（過乾燥米）と言われております。また新米時は収穫されてから1ヵ月後位までの時期をさします。



3. 運転方法

3-2 運転方法



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。
作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意してください。

粳搗精米の仕方

- ① 抵抗ニギリ（抵抗レバー）を「0」の位置にしてシャッター（ハンドル）を閉め、白米排出ツマミを閉めてください。
粳40kgを張込ホッパーからタンク内のタンク矢印まで張り込んでください。
- ② タイマーを30分程度にセットして精米機を起動させ、シャッター（ハンドル）を「3」の位置にし、抵抗ニギリ（抵抗レバー）を抵抗メーターグリーンゾーン左側にくるように合わせてください。
- ③ 粳が6～7割程取れた頃（約10分頃）になったら抵抗メーターグリーンゾーン中程に合わせてください。
- ④ 精米が終了したら抵抗ニギリ（抵抗レバー）を「0」にして、タイマーを除糠にセットして除糠してください。
- ⑤ 除糠が終了したら白米排出口に容器を置き、タイマーを再び除糠の位置にして白米排出ツマミを引いてお米を排出してください。

玄米精米の仕方

- ① 抵抗ニギリ（抵抗レバー）を「0」の位置にしてシャッター（ハンドル）を閉め、白米排出ツマミを閉めてください。
玄米60kg（4斗）を張込ホッパーからタンク内のタンク矢印まで張り込み平らにならしてください。
- ② タイマーを米質に合わせて時間をセットしてください。
（標準米・軟質米・・・25～35分 / 硬質米・もち米・・・35～45分）
- ③ シャッター（ハンドル）を開けてください。
- ④ 抵抗ツマミ（抵抗レバー）を調節して抵抗メーターグリーンゾーンに合わせてください。
- ⑤ 精米が終了したら抵抗ニギリ（抵抗レバー）を「0」にして、タイマーを除糠にセットして除糠してください。
- ⑥ 除糠が終了したら白米排出口に容器を置き、タイマーを再び除糠の位置にして白米排出ツマミを引いてお米を排出してください。

3. 運転方法

3-3 運転時の注意事項



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意してください。

- (注意①) タイマーのセットは初回は短めに合わせてください。白米になってから長時間精米を続けると碎米発生の原因となることがあります。
- (注意②) 抵抗の強さは初回は抵抗メーターのグリーンゾーンの左側または中程に合わせてください。特に軟質米で精米途中にグリーンゾーン右側をオーバーするようなときは、抵抗ツマミ（抵抗レバー）を1山または2山程弱めてください。
- (注意③) 本機には調圧抵抗装置（ソフトマチック）が付いております。調圧抵抗装置（ソフトマチック）の作用で普通は精米途中の抵抗調節は必要ありません。
- (注意④) 1～2回ご使用になってお米の性質・精米機の具合等がお分かりになったら、次回から抵抗の強さ・タイマー時間等を加減してご使用ください。
- (注意⑤) 新米時期や軟質米・モチ米などのご使用で、タンク内または本機内で米詰まりまたはムラ搗きが発生することがあります。その場合は下記のようにしてください。
 - ① 運転を停止して本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ② 抵抗を「0」に戻して、シャッター（ハンドル）を全閉にしてください。
 - ③ 排出シャッターツマミ（排出ツマミ）を開いて循環して流れる部分や抵抗をかける部分等の詰まりが発生したところを棒などを使って充分ほぐして米・米糠等を一度排出してください。
 - ④ 排出した米はタンク内に戻してから精米を再開してください。精米を再開する場合は次の手順で行ってください。
 - ① シャッター（ハンドル）を全閉にしてください。
 - ② 抵抗を「0」からスタートして徐々に抵抗を掛けて行ってください。
 - ③ 機械が新しい場合は抵抗「0」～「1」であっても精米のできる場合があります。
- (注意⑥) 粳搗き精米の注意
 - ① 初め抵抗は弱め（抵抗メーターグリーンゾーン左側）にしてください。
 - ② 脱ぷが早すぎて供給口に詰まるときは、一度抵抗二ギリ（抵抗レバー）を上げて（抵抗「0」）除糠してください。
- (注意⑦) 本機は粳・玄米専用ですのでそれ以外のものでは使用しないでください。やむを得ず麦等でご使用される場合は、クリーニング用としてご使用ください。



注意

運転中停電した場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源が復帰したときに本機が知らぬ間に作動したりして思わぬ事故を招くことがあります。また停電の際には次のことを行ってください。

- ① シャッター（ハンドル）の位置を「閉」にしてください。
- ② 抵抗二ギリ（抵抗レバー）の位置を「0」に戻してください。

4. 各部の点検・掃除

4-1 使用後の取扱いについて



警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。



警告

使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 糠袋に溜まった糠・籾殻等は、運転毎に排出して糠袋の中をきれいにしてください。
- タンク内の糠・ホコリ等は、乾いた布で拭いてください。
- 除糠アミに付着した糠・小米（碎米）等は時々除去してください。
但し、長期間本機をご使用にならない場合は、除糠アミ・吸引シュート・ホース等をきれいに掃除しておいてください。虫等が発生する場合があります。
- 使用後はタンク内に異物が入らないようにタンクカバーを本機に被せてください。

4. 各部の点検・掃除

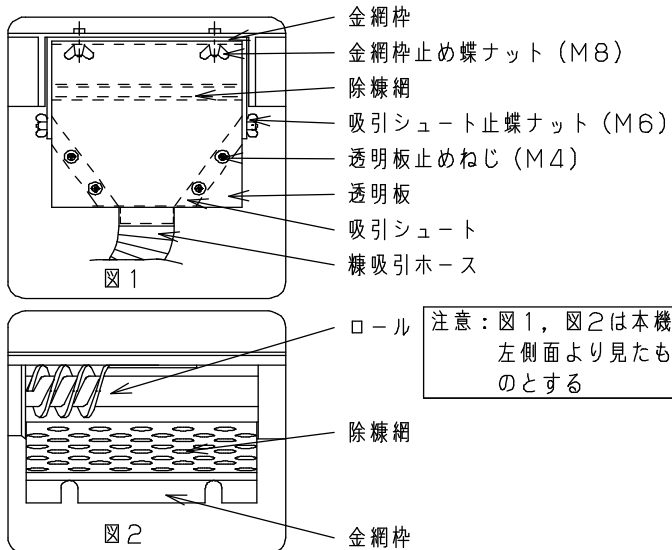
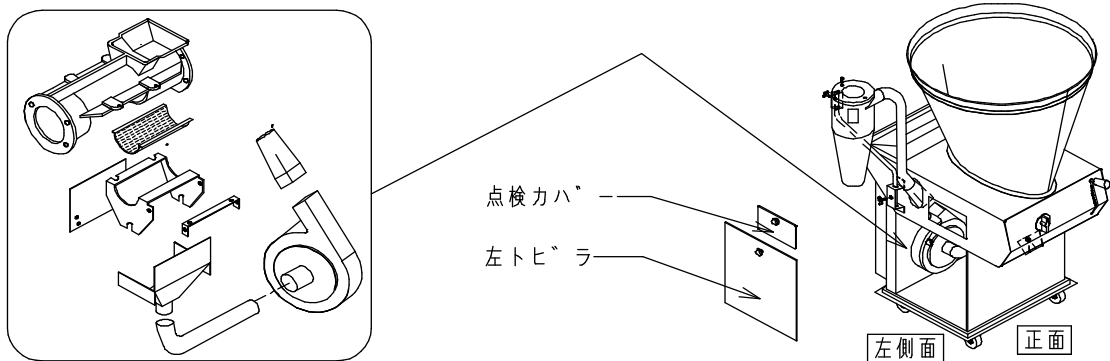
4-2 除糠アミ・吸引シュートの掃除方法



警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ◎ 本機の左トビラを開けますと内部に吸引シュート・除糠アミがあります。
下記に示すように除糠アミの交換・吸引シュートの掃除を行ってください。



除糠アミの取り外し方

- ① 透明板止めネジを4ヶ所外して透明板を取り外します。
- ② 吸引シュートの左右の止め蝶ナットを緩めます。吸引シュートを下方に引き下げて取り外します。
- ③ 金網枠止め蝶ナットを外して、図1の手前から奥に回すと図2のようになりますので、除糠アミを取り外します。
- ④ 取り外した除糠アミ・金網枠をブラシ等で小米・糠等をきれいに掃除します。
- ⑤ 吸引シュート・糠吸引ホースの付着糠等もきれいに掃除します。

除糠アミの取り付け方

- ・取り外した逆の手順で元に戻します。

4. 各部の点検・掃除

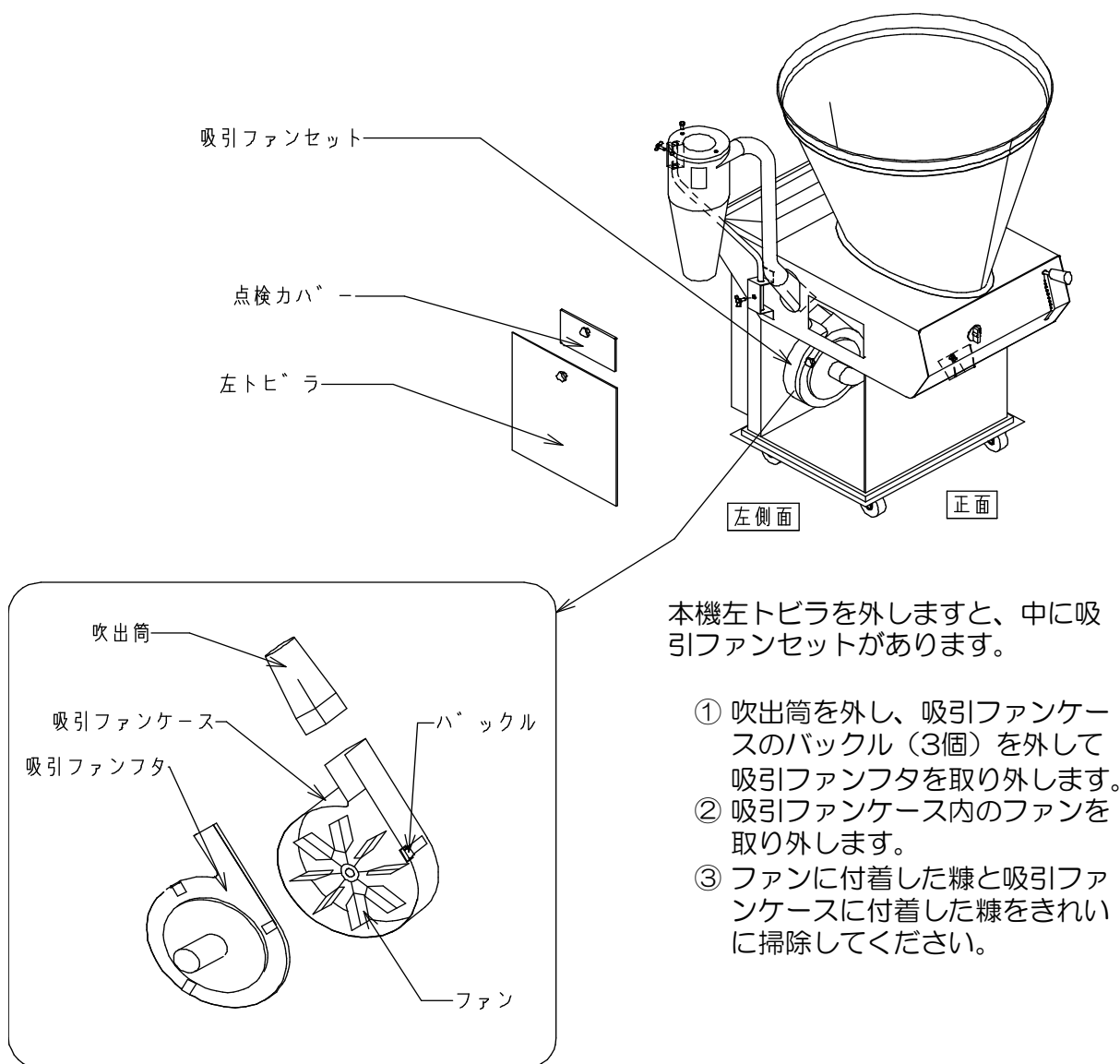
4-3 吸引ファンの掃除方法



警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

◎ 長期にわたって使用しますと図示の吸引ファン内に糠・ホコリ等が付着します。
下記に示す手順で定期的に掃除を行ってください。



4. 各部の点検・掃除

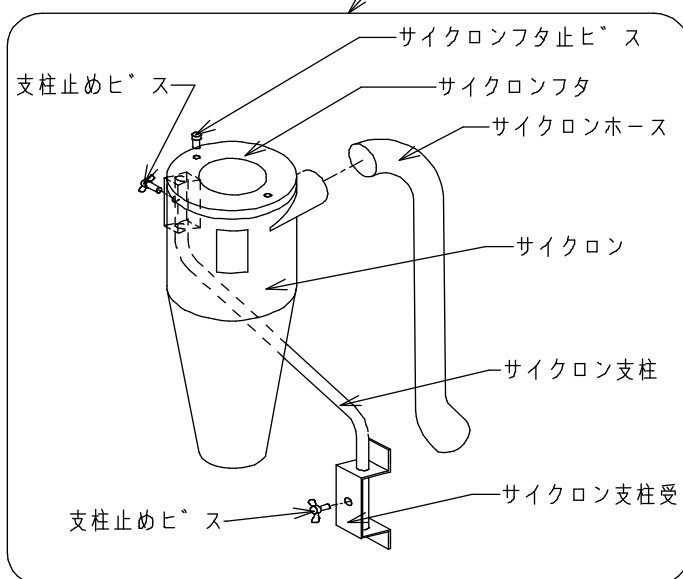
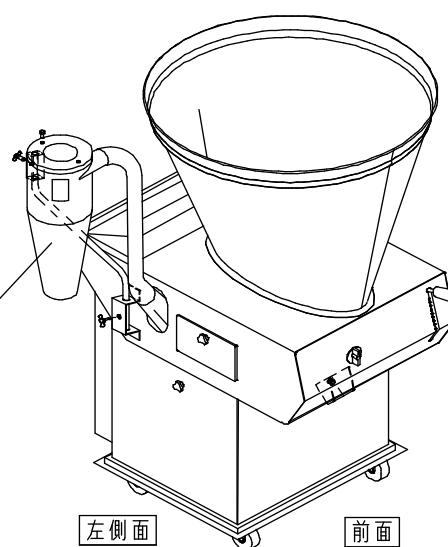
4-4 サイクロンの掃除方法



警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ◎ 長期にわたって使用しますと図示のサイクロン内に糠・ホコリ等が付着します。
下記に示す手順で定期的に掃除を行ってください。



- ① サイクロンホースを外します。
- ② サイクロン止めビス（2個）を外しますとサイクロンフタが取り外せます。
- ③ サイクロン本体に付着した糠をきれいに掃除します。
- ④ サイクロンフタ・サイクロンホースに付着した糠をきれいに掃除します。

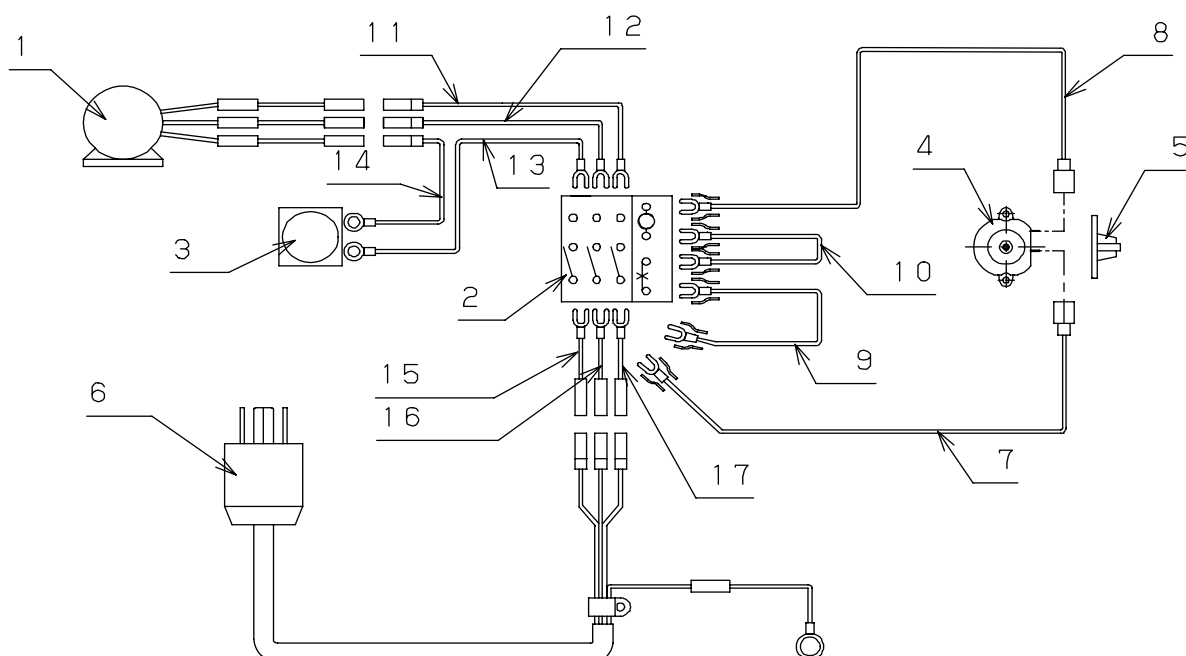
4. 各部の点検・掃除

4-5 電気配線図



警告

点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。



電気部品一覧表

No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
1	モーター (2.2kw)	7	配線コード (Y) 黄	13	配線コード (F) 黒
2	電磁開閉器	8	配線コード (Y) 黄	14	配線コード (G) 黒
3	抵抗メーター	9	配線コード (P) 赤	15	配線コード (C) 黒
4	ゼンマイタイマー	10	配線コード (P) 赤	16	配線コード (B) 白
5	タイマーツマミ	11	配線コード (D) 赤	17	配線コード (A) 赤
6	電源コード (プラグ付)	12	配線コード (E) 白		

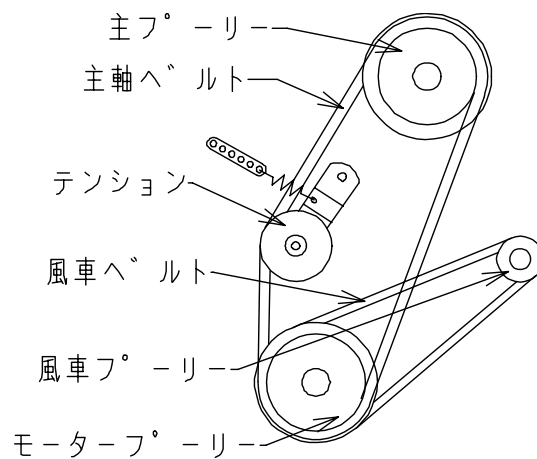
4. 各部の点検・掃除

4-6 プーリー・ベルトサイズ表



警告


点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。



プーリー及びベルトサイズ	
名 称	サ イ ズ
主軸ベルト	SA-40 (レッド)
風車ベルト	M-29 (レッド)
主プーリー	Φ180 VA×1
モータープーリー	Φ116 VA×1・VM×1
風車プーリー	Φ42 VM×1

5. 不調なときの原因と対策


5-1 不調な時の原因と対策（1）

	警告	<p>点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。</p> <p>安全上支障をきたす場合があります。</p>
---	----	---

状 態	原 因	対 策
タイマーをONしても機械が運転しない	電源がきていない	電気工事または電力会社に連絡する
	電源ヒューズが切れている	ヒューズを交換する
	精米機のブレードが作動している	ブレードの働いた原因を取り除き、ブレードの赤いボタンを押す (注意) 赤いボタンは2秒以上押し続けしないでください
	配線の断線	配線の修理または交換する
	タイマー・電磁開閉器等の破損	電装部品を交換する
精米時間が長くなる	硬質米（過乾燥米）である	シャッター（ハンドル）を精米位置に合わせて抵抗を強くする
	抵抗が弱い	抵抗メーターのグリーンゾーン右側または中程に合わせる
	除糠アミ・ロール等の磨耗	部品を交換する
除糠アミに糠が固着する	シャッター（ハンドル）の開け過ぎ	シャッター（ハンドル）を精米位置に合わせて抵抗を強くする
	抵抗が弱い	抵抗メーターのグリーンゾーン右側または中程に合わせる
	玄米水分が適正でない（過乾燥米である）	玄米水分を出来るだけ14～15%に調整する
	糠袋に糠が満タンになっている	糠を排出する
	除糠アミに糠・小米等が詰まっている	除糠アミをきれいに掃除する
ムラ搗き・方流れが生じる	張込量が多すぎる	適正な張込量にする (粳 40kg / 玄米 60kg)
	機体が傾いている	機体を水平に据え付ける
	タンク内面に糠・油等が付着している	タンク内面を布切れできれいに掃除する（付着した糠等を落とす）
	タンク内面に抵抗となるキズがある	タンクの交換をする
	タンクが変形・ヘコミ等がある	タンクの交換をする

5. 不調なときの原因と対策

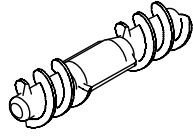
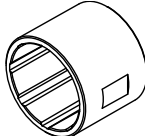
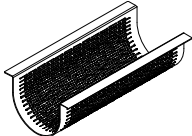
5-2 不調な時の原因と対策 (2)


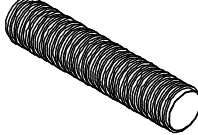

	警告	<p>点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。</p> <p>安全上支障をきたす場合があります。</p>
---	----	---

状 態	原 因	対 策
ブレーカーが作動する	抵抗が強すぎる	新米や軟質米（高水分米）のときは、特に抵抗を半～1目盛り弱くして、グリーンゾーン左側に合わせて精米する
	他の機械や電熱器等を同時に運転している	消費電力の大きい電気製品との同時使用を避ける
	配線が不適正 コードリール等延長コードを使用している	適正配線されたコンセントへ直接プラグを接続する
碎米が多く出る	抵抗が強すぎる	抵抗を半～1目盛りの弱くして、グリーンゾーン左側に合わせて精米する
	粳・玄米に碎米や胴割れ米が混ざっている	抵抗を少し弱めて碎米の増加を防止する
糠袋に米が飛んでいく	除糠アミの破損	除糠アミを交換する
粳搗き精米で循環しない	抵抗の掛け過ぎによる急激な脱び	抵抗を弱め、シャッター（ハンドル）を全開にして粳殻を取り除く

6. 消耗部品

- 表中の数値を目安に、部品の交換をお願い致します。
- 交換部品は、お買い上げの販売店へお問合せください。
- 交換作業は、お買い上げ販売店へお問合せください。

部品名	ロール	円筒	除糠アミ
部品番号	A22-105-10	162-106-12	A22-226-10
イメージ			
交換の目安 (玄米)	18,000kg (約3,00俵)	18,000kg (約3,00俵)	18,000kg (約3,00俵)

部品名	糠吸引ホース	サイクロンホース	糠袋
部品番号	182-422-11	162-421-11	180-527-02
イメージ	 (Φ50×280)	 (Φ50×600)	

※ 1俵=60kg (30kg×2袋) です。交換目安換算の際にお役立てください。

アフターサービスについて

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず、販売店印およびお買い上げ日を確認のうえ、お買い上げの販売店から本書を受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年

3. 修理をお申しつけされるときには

《保証期間中》

お問合せの際、販売店にご連絡ください。保証書の記載事項に基づき修理させていただきます。

《保証期間を経過している時》

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

4. 補修用部品の供給年限について《製造打ち切り後10年間》

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後10年と致します。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期限等について、ご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格について、ご相談させていただきます。

5. 点検・処置しても、なお不具合があるときは

下記の点を明確にしてお買い求め先までご連絡ください。

《連絡していただきたい内容》

- 型式名と機体番号
- ご使用状況は？
- どれくらい使用されましたか？
- 不具合が発生したときの状況を、できるだけ詳しく教えてください。

本書記載以外、お客様ご自身での修理、分解や改造は、絶対にしないでください。

保証書

保証期間内に取扱説明書、本体表示などの注意書きに従って正常な使用状態で使用して故障した場合には、保証書を持参、ご提出の上、お買い求め先へお申し出ください。無料修理させていただきます。

※型 式 名	4LEB	修理メモ
※機 体 番 号		
保 証 期 間	お買い上げ日より本体 1 年	
※お買い上げ日	年 月 日	
※お 客 様	お名前	
	ご住所	
	お電話 ()	
※販売店名・住所	()	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- ご転居、ご贈答などで、お買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、下記の販売元へお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) お取り扱い上の不注意・天災・公害・異常電圧・指定外の使用電源による故障、損傷及び部品の当然の消耗などの場合。
 - (ロ) ご自分で不当な修理・調整・分解・改造などをされたもの及び取扱説明書、本体表示などの禁止事項での使用による故障及び破損。
 - (ハ) お求め先以外での修理・純正部品以外の使用起因による故障、損傷の場合。
 - (ニ) 機能上影響のない音・振動・外観上の軽微な傷、経時変化による自然退色、発錆などの場合。
 - (ホ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷。
 - (ヘ) 一般、厨房用以外（たとえば車輻、船舶へのとう載など）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ト) 故障に起因する休業補償などの二次損失の補償。
 - (チ) 故障の発生後30日以内にお買い求め先へお申し出がなかった場合、取り外した不具合部品を紛失された場合。
 - (リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ヌ) 本書のご提示がない場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は、下記のお客様窓口へお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理・補修用部品の保有期間について詳しくは、アフターサービスについての項をご覧ください。

マルマス機械株式会社

〒930-0314 富山県中新川郡上市町若杉2番地
TEL. 076-472-2233 FAX. 076-473-9100